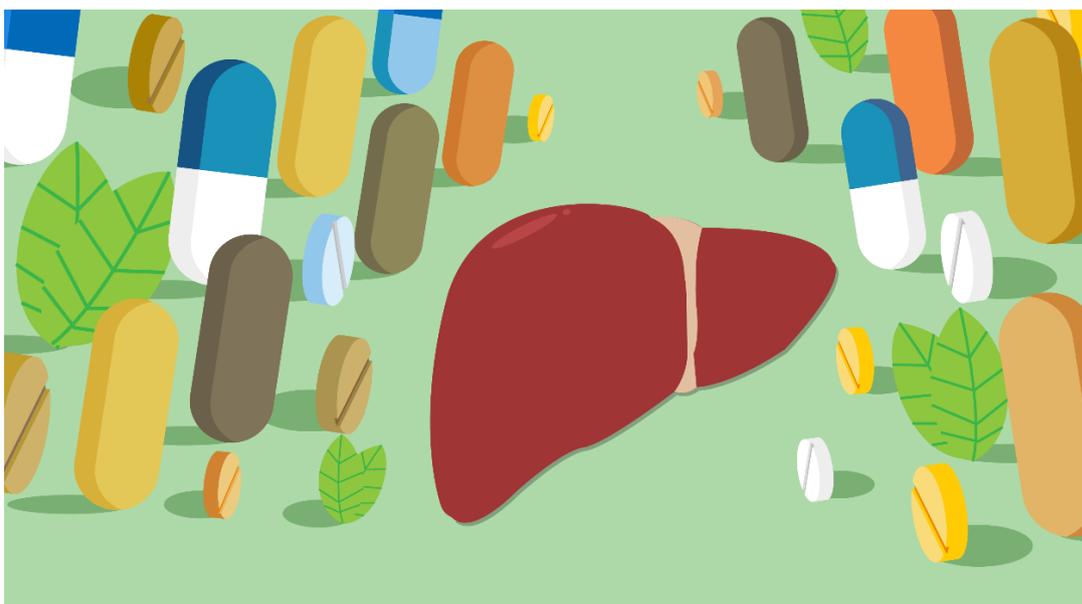


ハーブやサプリメントによる肝障害は 医薬品より重篤

ハーブやサプリメントの摂取により誘発される肝障害の報告が増加しています。その背景にはこれらの製品が容易に入手可能であり、消費者が従来の医薬品よりも安全で有効だと信じている可能性があります。



このほど、スペインの Inmaculada Medina-Caliz 氏らは、ハーブやサプリメントによる肝障害が従来の医薬品による肝障害よりも重篤かつ再発しやすいことを *Clin Gastroenterol Hepatol* 誌に報告しました。



サプリメントによる肝障害患者の平均年齢は48歳で、女性が63%を占め、摂取理由の半数近くがダイエットでありました。患者の78%は黄疸を発症し、6%が急性肝不全に進行していました。



サプリメントによる肝障害が繰り返し引き起こされる理由の一つとして、「自然のもの」は「無害である」と考え摂取を繰り返すことがあげられます。